

< 回答いただく御担当者様 >

貴団体の名称、回答いただく担当者プロフィールについてご記入ください。

① 貴団体名称をご記入ください。

記述方式	名称 ()
------	--------

② 回答担当部署名称をご記入ください。

記述方式	名称 ()
------	--------

③ 回答担当職員役職・氏名をご記入ください。

記述方式	役職 ()、氏名 ()
------	---------------

④ 回答担当職員の連絡先（電話番号、メールアドレス）をご記入ください。

記述方式	電話番号 ()、メールアドレス ()
------	----------------------

※ アンケートの回答をして頂くにあたり、電子メールに添付してある資料をご用意してください。

< 添付 1 >

原子力施設等における消防活動対策ハンドブック（平成 16 年 総務省消防庁）

- 平成 16 年 3 月、原子力施設等における消防活動対策マニュアル(※)を、活動現場で消防隊員が活用できるよう、携帯可能なマニュアルとして作成（平成 20 年 2 月一部改訂）
- 原子力施設等における除染等消防活動要領（平成 17 年 3 月） 追加
- 原子力施設等における現場指揮本部の設置・運用マニュアル（平成 21 年 12 月） 追加

(※)原子力施設等における消防活動対策マニュアル（平成 13 年 総務省消防庁）

- 平成 13 年 3 月、原子力施設等における事故等発生時に、消防隊員の安全を確保しながら効果的な消火、救助、救急等の消防活動を行うことができるよう作成

< 添付 2 >

生物・化学テロ災害時における消防機関が行う活動マニュアル（平成 16 年 総務省消防庁）

- 生物・化学テロの発生時に関係機関と連携を図り、消防機関の隊員が安全に活動するために作成。対象とする災害形態は、化学剤、生物剤を使用したテロ災害

- ・ 本アンケートにおける「N 災害」とは、原子力施設、放射性同位元素等取扱施設又は放射性物質の輸送に係る事故のほか、放射性物質テロ災害や原子力艦の事故など、放射性物質又は放射線の存在に留意が必要な災害を広く指すものとします。

1. NBC 災害における通報受信時の対応について

1.1 N 災害における通報受信時に係る対応について

原子力施設等における消防活動対策ハンドブック 第1節 災害対応チェックシート (P3~5) 参照

- ① 原子力施設等における消防活動対策ハンドブックで示している通報様式の内容以外で独自に追加している事項があればご回答ください。

記述 方式	
----------	--

- ② その他、指令室の対応（ハード面・ソフト面）で工夫している事項についてご記入ください。

記述 方式	例)・消防本部指令室から、施設概要・収容人数・危険情報（危険物貯蔵、核物質等）の情報提供を各出場車両の車載端末に伝送するシステムを構築している。など
----------	--

2. NBC 災害における活動管理に係る基準、対策等について

貴消防本部における NBC 災害に対する活動管理に係る基準及び対策についてご回答ください。

2.1 N 災害において定めている活動管理に係る基準、対策等について

- ① 原子力施設等における消防活動対策ハンドブックで示している消防活動時の装備や資機材以外で保有している防護装備や資機材があればご記入ください。

原子力施設等における消防活動対策ハンドブック 第2節 (P32~36) 参照
第5節 (P117) 及び 第9節 第3 (P175) 参照

記述方式	例) ・熱中症予防のためのクールベスト ・ポール型の放射線測定装置
------	--------------------------------------

- ② 原子力施設等における消防活動対策ハンドブックで示している基準以外の**放射線危険区域、準危険区域等の設定の基準**を定めている場合は、当該基準についてご記入ください。

原子力施設等における消防活動対策ハンドブック 第4節 第7 (P83) 参照

	【独自に設けている区域設定の基準】
記述方式	例) ・除染区域の設定は〇〇 μ Sv/h 以下としている。

- ③ 原子力施設等における消防活動対策ハンドブックで示している基準以外の**放射線危険区域等からの緊急退避の基準**を定めている場合は当該基準についてご記入ください。

原子力施設等における消防活動対策ハンドブック 第4節 第8 (P85) 参照

	【独自に設けている緊急退避基準】
記述方式	例) ・急激な数値の上昇については〇〇mSv/h 以上とする。

- ④ 原子力施設等における消防活動対策ハンドブックで示している基準以外の**活動後の隊員や資機材の除染の基準**を設けている場合は当該基準についてご記入ください。

	【独自に設けている除染基準】
記述方式	例)・施設関係者と協議のいとまがない場合、仮の除染基準として〇〇cpm としている。

3. N災害における対応活動後の隊員の健康管理について

① N災害で活動した隊員について、活動終了後に臨時的・追加的な健康診断の実施について定めている場合には該当項目に☑をしてください。複数回答可)

労働安全衛生法規則第 44 条で定める定期健康診断

電離放射線障害防止規則第 56 条の健康診断

その他 ()

4. その他独自の工夫されている事項、NBC 災害に対する現況の課題、ご意見等について

その他独自の工夫されている事項、NBC 災害に対する現況の課題、ご意見等についてご記入ください。

設問 1～3 のほか、原子力施設等における消防活動ハンドブックで示されている内容以外で、独自に工夫されている事項があれば記載してください。

(例)繰り返しの活動を有効に行うためタイベックを 2 重に装着する。

生物・化学テロ災害時における消防機関が行う活動マニュアル（平成 16 年）で示された内容以外で、貴消防本部のマニュアル等で規定されている組織、活動上の留意事項等があれば記載してください。

貴消防本部におけるNBC 災害に関する現状の問題点について具体的に記載してください。（組織、資機材、教育など）

その他、ご意見

調査項目は以上です。最後に記入漏れがないかあらためてご確認ください。

調査ご協力ありがとうございました。